

(1) 事業の趣旨・概要	・ 改修工事を行う受給者宅の実態確認や工事見積書の点検、竣工時の訪問調査、竣工写真の確認など施行状況を点検することにより、受給者の状態にそぐわない不適切又は不要な住宅改修を排除する。 ・ 福祉用具利用者への訪問調査等で福祉用具の必要性や利用状況等を点検することにより、不適切又は不要な福祉用具購入・貸与を排除し、受給者の身体の状態に応じて必要な福祉用具の利用を進める。 ・ これら点検・調査においては、必要に応じ、理学療法士、作業療法士等のリハビリテーション専門職等の協力を得る。(地域ケア会議の活用等)
-----------------	---

(2) 実施の内容・方法	・ 住宅改修における事前事後書類(施行前および施工後の現場写真、見積書、理由書、竣工写真など)を全件数点検し、妥当性や適性について保健師やリハビリ専門職とともに、点検を推進する。 ・ 適正化システムにおいて、軽度の要介護者にかかる福祉用具利用者を選出し、福祉用具の必要性や利用状況等について点検する。				
	住宅改修 点検担当職員数	5人	職種別内訳：事務職2人、保健師1人、リハ職2人		
	福祉用具 点検担当職員数	2人	職種別内訳：事務職2人		
	住宅改修点検業務 委託の有無	無		福祉用具点検業務 委託の有無	無

(3) 目標と実績

① 住宅改修

申請総数	うち 疑義案件数	疑義案件のうち事前又は事後訪問調査件数		
		目標	実績(上半期)	実績(年間)
		疑義案件 すべて	0	

② 福祉用具の購入

申請総数	うち購入の必要性等の確認件数		
	目標	実績(上半期)	実績(年間)
	案件 すべて	167	

(4) 評価指標

第1号被保険者1人あたり

- ① 住宅改修費
- ② 福祉用具購入費
- ③ 福祉用具貸与費

[介護保険事業状況報告(年報又は月報)データより算定]				
R3年度	→伸び率	R4年度	→伸び率	R5年度
	#DIV/0!		#DIV/0!	
	#DIV/0!		#DIV/0!	
	#DIV/0!		#DIV/0!	

(5) 検証と自己評価	
----------------	--

(6) 今後の進め方・課題	
------------------	--